

執筆：SecurityScorecard 中村 悠

編集：SecurityScorecard 橋本 詩保

セキュリティ投資の効果測定で検討すべき20の評価基準

昨今、情報セキュリティ対策に投資をしていない組織はいないはずですが、ただ、セキュリティを投資した後の状況までしっかり把握されている組織はあまり多いとは言えない状況が続いています。

経営陣の視点で考えると、セキュリティ部門から上がってくる報告書が、組織の意思決定を促すことができる内容/レベルになっていると考えている割合は非常に少なく、この割合はここ数年変わっていないとされています。また、セキュリティ投資に関してその評価基準が存在しない、あっても非常に成熟していないものだと考える組織が大半ではないでしょうか。

組織が考えるセキュリティ対策、それに伴うセキュリティ投資において、その価値を最大化するための大切なステップとして、投資した後、明確な評価基準を設け、その投資対効果をしっかり測定し続けることが挙げられます。

セキュリティ投資における評価指標の重要性

一般に、効果測定できないものは管理できないと言われています。従って、セキュリティ投資においても、その評価指標を定め、目標値を決めて運用を行わない限りは、その効果を測定することはとても難しいです。この評価指標の策定/効果測定は、組織のセキュリティ態勢を維持するための重要な方法です。特に、以下の2つの理由から組織はセキュリティに対して評価指標を定める必要があると言えます。

1. 組織のセキュリティ態勢を俯瞰的に見る:



続きを見たい場合は

メーカーBlog^

[HTTPS://SECURITYSCORECARD.COM/CYBERSECURITY-METRICS-KPIS-TO-TRACK-JP](https://securityscorecard.com/cybersecurity-metrics-kpis-to-track-jp)